

二〇二五年度

入学試験（一次B）問題

国語

- ・答えはすべて解答用紙に書きなさい。
- ・ぬき出し問題や記述問題では、句読点や記号も一字と数えること。

横須賀学院中学校

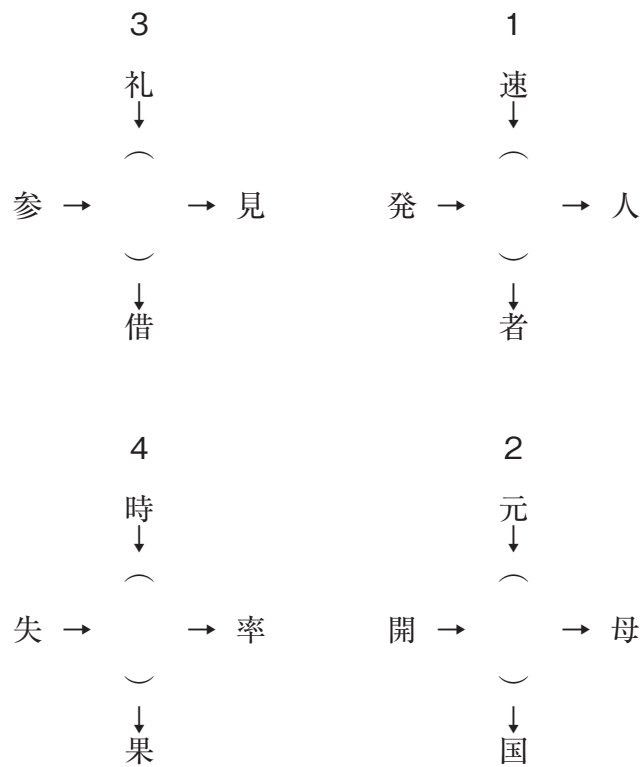
一

次の――部について、漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直
しなさい。

- 1 父のカンビヨウをする。
- 2 遊ぶにはキケンな場所だ。
- 3 その星はニクガンでも見ることができる。
- 4 けんかをした相手をウルす。
- 5 お祝いの赤飯を食べる。
- 6 試験の結果に納得する。
- 7 真空パックで食品を保存する。
- 8 経験に基づいて行動する。

二

次の（ ）に漢字を一字ずつ入れて矢印の方向に読むと熟語
が四つできます。（ ）にあてはまる漢字をそれぞれ答えな
さい。



三

次の（ ）に漢字を入れて四字熟語を完成させ、その意味としてふさわしいものをア～カの中から選び、記号で答えなさい（同じ記号を二回使ってはけません）。

- 1 一念発（ ）
- 2 明鏡止（ ）
- 3 意気投（ ）
- 4 前代（ ）聞

- ア、おたがいに考えや気持ち（いっ）がぴったりと一致すること。
- イ、これまでにないめずらしくまれなこと。
- ウ、幸も不幸も過去における善行、悪行の結果だということ。
- エ、一つのことをすることで二つの利益を収めること。
- オ、考えを改めて、ある事をなしとげようと決心すること。
- カ、心にわだかまりやくもりがないこと。

四 次の先生と生徒の会話を読んで、後の問いに答えなさい。

先生…最近、食品や生活用品などあらゆる物が値上げしていますね。昨年は三十年ぶりに郵便料金も値上がりしましたね。

生徒…メールやSNSなどの連絡手段を使っているので、郵便料金の値上げは知りませんでした。

先生…最近では若者を中心に手紙を利用する機会は減っていますね。しかし、人々のコミュニケーションツールとしての手紙の歴史はとても古く日本では飛鳥時代までさかのぼると言われています。

生徒…飛鳥時代といえば推古天皇すいこてんのうの摂政せつしょうとして活躍かつやくした聖徳太子しょうとくたいし（厩戸王うまやどののおう）ですね。

先生…聖徳太子の手紙といえば、隋ずいに『日出処天子致書日没処天子』*1という手紙を送り、皇帝こうていの煬帝ようだいを怒おこらせたという話が有名です。この時代の日本には 1 しか文字はなく、主に男性が使用するものとされてきました。その後、平安時代にひらがなが誕生し、女性も文字を記すようになると手紙文化が発展したのです。

生徒…紫式部むすしきぶが書いた文学作品の中には、和歌わかくが含まれた手紙をやりとりするシーンが多くありますね。

先生…平安貴族たちの間で意中の相手に対して五七五七七の音数の定型詩である短歌を添そえて手紙を送る習慣がありました。現代で言うところの『ラブレター』ですね。

生徒…ラブレターに短歌を用いるのですか。下手な短歌を贈おくると嫌きらわれてしまいそうですね。

先生…そうですね。短歌をよむのが上手うまいか下手へたかは、恋こいの行方ゆくえを決めたのです。また、短歌の内容以外にもどんな紙に書いたのか、文字がきれいに書かれているかななども重要だったようです。

生徒…内容だけでなく、贈り手の感性が試されたわけですね。

先生…その他にも、いかに短歌に精通しているかも重要でした。例えば、自分で作った短歌の一部に、有名な短歌をふまえてよむ「本歌取り」という表現技法があります。贈られた側もその元となる歌を知らなければなりません。平安貴族たちはたくさんの和歌を知っていることが求められたようで、ある貴族は、娘に『古今和歌集』約千百首をすべて暗記させたそうです。

生徒…今までは百人一首でしか知らなかった短歌ですが興味がい

てきました。来年の夏休みの自由研究は短歌について調べてみようと思います。

*1 日出処天子致書日没処天子：日本語で読むと「日出ずる処の天子、書を日没する処の天子に致す」となる。

問一

1 にあてはまる語を、二字で答えなさい。

問二

—— 2 「紫式部が書いた文学作品」を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア、枕草子

イ、源氏物語

ウ、竹取物語

エ、おくのほそ道

問三

次の定型詩の中で短歌を選び、記号で答えなさい。

ア、天の原振りさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも

イ、佐保川の岸のつかさの柴な刈りそねありつつも春し来た

らば立ち隠るがね

ウ、私の耳は貝の殻海の響きを懐かしむ

エ、やれ打つな蠅が手をすり足をする

七

「失敗は成功のもと」ということわざがあります。このことわざがあてはまる経験について百五十字以内でまとめなさい（句読点や記号も一字と数えること）。